

公立芽室病院運営委員会議事録

日時 令和3年12月27日（月）

18：30～19：50

場所 公立芽室病院3階職員研修室

1 出席委員（敬称略）

中川ゆかり、安藤功、北林奈美、岩野真志、吉口美喜子、西村有里、飯島裕治
(7名)

2 欠席委員（敬称略）

村上哲也、鳥本勝信、児玉渉、尾田憲子、田口聰明、(5名)

3 町出席者

手島旭町長

4 病院出席者

研谷智院長、西科純事務長、半澤加代子総看護師長、佐藤孝生診療技術科長、
森寿哉薬剤長、江崎健一事務局参事

5 事務局

佐藤文彦総務係長、多田敬介医事係長、杉本康次経営企画係長、
林徹哉総務係主任

6 議題

(1) 令和4年度の診療体制について

ア 事務長から次年度の診療体制について報告しました。

イ 質疑

委 員 医師数がほぼ充足することは良い形だと思います。

委 員 在宅診療の体制等も充実していくものと考えます。

院 長 田中先生が透析業務を担っており、負担となっていました。

新たな採用により、田中先生の負担が軽減されます。

委 員 多くの先生に来ていただくのは大変だったと思います。

どのようなアプローチを行ってきたのでしょうか。

事務長 和田先生については、前院長時代に、自治医大の義務年限明けの医師に対してダイレクトメールを送信しており、そのメール

を見て3年越しに来たいただくことになりました。

相馬先生については旭川医科大学の医局人事から外れて当院へ来ていただることになります。田中先生を通じて連絡があり、2年前から計画的に進めてきました。

4月1日付け採用予定の医師については、1年前から水面下で調整しておりました。十勝の医師であり、連絡調整が容易でした。

7月1日付け採用予定の医師については、以前研修医として当院で勤務しており、それ以降、研谷院長がアプローチを続けてきました。

(2) 第1回公立芽室病院経営形態検討会議について

ア 江崎事務局参事から概要について説明しました。

イ 質疑

委 員 検討会議のスケジュールについて、タイトな日程と考えますが大丈夫でしょうか。

参 事 議論の状況によって回数は増減することになりますが、スケジュール（案）のとおり進めていきたいと考えています。

また、町の執行方針においても今年度までとしていますので、年度内にある程度の方向性を定めたいと考えています。

委 員 日程ありきになると深掘りできない心配があります。

参 事 今年4月以降の審議の経過もあります。日程はあくまで目安であり、最終的には町長と相談していきます。

委 員 スケジュールが示されたのでわかりやすかったです。あとは内容だと思います。

(3) アクションプランの進捗状況について

ア 西科事務長から進捗状況について説明を行いました。

イ 質疑

委 員 院内や玄関等のクリスマスの飾りについて、心の余裕につながり、気持ち的に和むものなので、ぜひ続けてほしいです。

また、オンライン面会を正面玄関で実施していると思いますが、自宅と入院患者で実施することは可能でしょうか。

杉本係長 院内限定で実施しているのはLINEアプリを利用してお
り、プライバシー保護の観点によるものです。自宅で行うと当院のタブレットに個人情報が蓄積されてしまうため、今のところは当院のタブレット同士の利用に限らせてもらっています。

委 員 十勝管内のコロナ病床の確保状況について、9つの病院で13

5床、公立芽室病院は14床となっていますが、公立芽室病院は14床全て使用できる状況でしょうか。

事務長 使用できます。

委員 期限はいつまででしょうか。

事務長 年度内になると思います。補助金との関係もあり、感染状況を踏まえて進めていきます。

委員 先生確保についても良かったです。ロコモ体操が広報誌でも紹介されていましたが、今後予防活動についてどれだけ力を入れていくのでしょうか。また、公立病院に対しての国の方針は変わっていないのでしょうか。計画変更はあるのでしょうか。

院長 広報誌を見てロコモ体操をやりたいという人は数える程でしたので、現在は骨粗しょう症の方に対して勧めています。リハビリに余力があるわけではありませんが、広げていきたいと考えています。国の動きはありません。補助金で乗り切るという状況に変わりはなく、現時点では患者減により補助金が絞られている状況です。看護師の待遇改善を打ち出しましたが、診療報酬は減少とするなど、ちぐはぐな印象を受けます。

(4) アクションプランの進捗状況について

委員 コミュニケーションレターについて説明してください。

杉本係長 以前あった提案箱はあまり機能していませんでした。コンサルの提案で、患者と職員とのコミュニケーションを図ること等を目的として導入しました。掲示場所の改善なども行っています。

委員 変化はありましたか。

杉本係長 導入してから現在まで6件ほどの利用がありました。

また、入院患者からの感謝の投函も増え、職員の励みとなっています。

委員 自動計算機の導入で時間的な問題の解消に繋がっているのでしょうか。

事務長 自動計算機は補助金を利用して購入したものです。逆に遅くなつたという意見もあります。

委員 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種は、町としていつから実施する予定でしょうか。

多田係長 接種のスタートは最速2月からと考えています。集団接種は2月23日からを予定しています。当院としてはもう少し早く実施したいのですが、3回目接種用のワクチンが足りていないのが現状です。町内クリニック・健康福祉課と協議していきたい

と思います。

委 員 以前ワクチン接種の電話予約に苦労しました。何か対策は考えているでしょうか。

多田係長 高齢者のWeb予約数が思ったよりも多かったため、今回も広く活用していく予定です。以前よりはうまく分散できるのではと考えています。